

てぶくろーウクライナ民話一  
エウゲーニー・M・ラチョフ 絵  
うちだりさこ 訳



福音館書店 1965年 800円

おじいさんが森で落としたてぶくろに、ねずみが入り、かえるが入り、うさぎ、きつね、おおかみ、いのしし、くままで入ってしまい…。雪の中の、暖かそうなてぶくろに入っていく動物たちの様子が、民族色豊かに描かれています。どんどん大きくなる動物と、「だれ、てぶくろにすんでいるのは?」と動物たちがくり返す問答のおもしろさ。典型的な昔話の楽しさを満喫できる絵本です。

どこへいってた?  
マーガレット・ワイズ・ブラウン 作  
バーバラ・クーニー 絵  
うちだりさこ 訳  
童話館出版 1996年 1000円



「ねこ ねこ どこへ いってた？ あっち きよろきよろ こっち きよろきよろ ぶらぶらしてた」ではじまる、動物たちの詩の絵本。ねこから、りす、さかな、ことり、うま…最後のからすまで15篇の詩がのっています。詩にあわせた絵は、白黒に赤を効果的にきかせ、動物たちを描きだしています。はずむような言葉のひびきと、美しい絵の調和を楽しんでほしい絵本です。

とてもともあついひ  
こいでたん 文  
こいでやすこ 絵



福音館書店 1993年 838円

とてもあついひ、3匹のねずみ、うさぎたち、たぬきたちが、汗をふきふき、自分の家からなくなったりのをさがしにいきます。しまりますたちの家についたみんなは、いっしょにみずあそびをはじめます。ところが、そのうちそれぞれが自分勝手なことをいいだして…。動物たちの表情をやさしい絵で描きだしています。あついひのみずあそびの爽快さ、楽しさを満喫できる絵本です。